

## II 保健予防推進担当

### 1 健康づくり・栄養

健康増進法に基づき、高齢化社会に向けて生活習慣病を予防することで、「健康寿命」をできるだけ延ばすことを目的とする。その実現のため、食生活・運動・休養・喫煙等の生活習慣を見直し、健康づくり・栄養改善を目的として事業を実施した。

#### (1) 健康増進(栄養等)の実施

県民に対して、専門的な栄養指導及び食生活支援を行い、生活習慣病を予防することを目的として実施した。

平成30年度(単位:人)

指導別 対象	個 別		集 団		
	栄 養	禁 煙	栄 養	運 動	禁 煙
乳 幼 児	-	-	-	-	-
20歳未満	-	-	-	-	-
20歳以上	23	0	150	0	0
合 計	23	0	150	0	0

#### (2) 食環境整備事業の実施

地域における食に関する環境を整備するため、給食施設等における栄養改善の向上や栄養管理についての指導及び助言を行った。また、食品製造業者に対して、栄養成分表示の指導を行い、県民に食生活に関する正しい知識や情報を適切に提供した。

##### ア 給食施設指導

平成30年度

	特 定 給食施設	その他の 給食施設	合 計
栄養管理指導(延施設数)	57	60	117
喫食者への栄養・運動指導(延人数)	-	-	-

##### イ 栄養成分表示普及促進事業

平成30年度

対 象	内 容	回数又は店舗数
住民・食品事業者等	栄養成分表示普及・啓発	2回
埼玉県・健康づくり協力店	指定基準指導	0店舗

### (3) 食育・地域栄養活動事業の実施

地域における栄養関係団体等の活動を支援するとともに、地域におけるリーダーの育成及び栄養改善の体制を整備するため、関係団体に対して、質の向上のための研修会を実施した。

その結果、各関係団体とも管内市町の保健事業で積極的に活動している。

#### 栄養関係団体育成事業の実施（平成 30 年度）

##### 〔研修〕

実施年月日 (会 場)	内 容	参加者
平成 30 年 7 月 3 日 (秩父保健所)	「平成 30 年度秩父保健所管内給食施設研修会」 (1) 講義：「給食施設の衛生管理について」 講師：秩父保健所 生活衛生・薬事担当職員 (2) 報告講義：「給食施設の栄養管理状況について」 講師 秩父保健所 保健予防推進担当職員	管内給食施設栄養 担当（主に管理栄養 士・栄養士）と施設 管理者等 66 人
平成 30 年 8 月 28 日 (秩父保健所)	「小児アレルギーに関する研修会」 長期療養児教室（小児慢性特定疾病対策費）との共催 講演：「食物アレルギーに関する研修会 ～実症例を中心にみんなと考える～」 講師：秩父市立病院 小児科部長 加藤 哲司 氏	管内小学校、中学 校、幼稚園、保育所 の教職員等 50 人
平成 30 年 10 月 25 日 (深谷上柴 公民館)	「平成 30 年度食育講演会（大里地域食育ネットワー ク研修会）」 熊谷保健所との共催 講義：「子ども達の脳の発育発達と 『早寝、早起き、朝ごはん』」 講師：子育て科学アクシス 伊藤 陽子 氏	保育所（園）、幼保 連携型認定こども 園、幼稚園、熊谷・ 秩父保健所管内市 町児童福祉主管課、 保健主管課等で子 育てに関わる職員 （栄養士、看護師、 保育士等）、地域活 動栄養士、保健所職 員等 76 人
平成 30 年 11 月 20 日 (秩父保健所)	「秩父郡市食生活改善推進員リーダー研修会」 講義・実技： 「フレイル予防について～要介護になる前に～」 講師：コンフィエンストータルヘルスサポーター 遠藤 良江 氏（管理栄養士・健康運動指導士）	管内食生活改善推 進員連絡協議会、事 務局職員 21 人

平成 31 年 3 月 1 日 (嵐山郷)	<p>「平成 30 年度 摂食・嚥下研修会」</p> <p>熊谷保健所、本庄保健所、東松山保健所、社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団嵐山郷との共催</p> <p>(1) 講義：「口腔衛生について」 講師：歯科診療主査 大久保 典子 氏</p> <p>(2) 講義：「摂食・嚥下機能に合わせた安全でおいしく豊かな食事」 講師：栄養担当 主査 後藤 薫 氏 主任 新井 佑佳 氏</p> <p>(3) 講義：「嵐山郷の摂食・嚥下機能の段階に合わせたソフト食について」 講師：栄養担当 主任 新井 佑佳 氏 (株)LEOC マネージャー 佐藤 美志英 氏</p> <p>(4) 講義：「誤嚥の防止のために摂食・嚥下のメカニズムを知ろう」 講師：医幹（歯科医師） 内田 淳 氏</p>	老人保健施設、特別養護老人ホーム、病院、訪問看護ステーション等の関係職員 63 人
-----------------------------	---	---

〔管内市町食生活改善推進員団体の活動支援〕

対 象 団 体	内 容
皆野町食生活改善会	健康講座・調理実習 (9/12、21 人)
長瀨町食生活改善推進員協議会	健康講座・調理実習 (11/5、17 人)

〔市町村支援〕

実施年月日 (会 場)	内 容	参加者
平成 31 年 1 月 21 日 (秩父保健所)	<p>「平成 30 年度秩父地域栄養・食育検討会」</p> <p>議題：栄養・健康づくり・食育事業について その他情報交換</p>	管内市町保健主管課栄養士、児童福祉主管課栄養士 5 人

(4) 地域・職域連携推進事業の実施

ア 働く世代の健康づくり支援等健康課題対策支援事業

平成 30 年度

実施年月日 (会 場)	内 容	対 象
平成 30 年 11 月 26 日 (深谷上柴 公民館)	<p>熊谷保健所、本庄保健所、鴻巣保健所との共催</p> <p>講演：「平成 30 年度介護報酬改定と高齢者の低栄養予防について」</p> <p>講師：埼玉県栄養士会 福祉事業部 堀 みき 氏</p>	老人保健施設、特別養護老人ホーム、管内市町関係職員等 100 人

### イ 特定健診受診率向上事業

関係機関の研修や会議で健診受診勧奨を実施した。

### ウ 効果的な保健指導実施支援事業

平成 30 年度

実施年月 (会 場)	内 容	参加者
平成 30 年 6 月 (管内各市町)	管内 5 市町を訪問して、特定健診・特定保健指導、健康づくり関連事業等の実施状況について確認と情報共有を行った。	管内市町国民健康保険主管課、保健主管課、保健所職員 延 23 人

### エ 地域健康長寿情報の P R

保健所ホームページでの健康情報提供。

関係団体へ特定健診受診率向上とがん検診受診率向上 P R。

受動喫煙防止とともに「埼玉県全面禁煙・空間分煙実施施設認証制度」の P R と認証。

### オ 市町村健康長寿のための情報担当者会議

平成 30 年度

実施年月日 (会 場)	内 容	参加者
①平成 30 年 8 月 28 日 ②平成 30 年 10 月 30 日 (深谷上柴 公民館)	「データ活用研修会」 熊谷保健所、鴻巣保健所、本庄保健所、埼玉県国民健康保険団体連合会との共催 ①講演：「特定保健指導実施率向上対策の阻害要因の整理・対策の検討方法」 講師：人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科 教授 奥田 奈賀子 氏 グループ討議 ②講演：「特定保健指導実施率向上対策の見直しの視点について」 講師：人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科 教授 奥田 奈賀子 氏 グループ討議	市町国民健康保険主管課・保健主管課職員、保健所職員、埼玉県国民健康保険団体連合会職員 ①36 人、②37 人

### カ 健康長寿サポーター養成に関する支援

実施年月日：平成 30 年 10 月 3 日

会場・参加者：秩父税務署 23 人

## 2 母子保健

子どもの心の健康問題や育児不安、虐待リスクのある親を支援するため、健康相談等を実施した。また、地域における母子保健体制のさらなる向上を目的に、連絡会議、研修会、事例検討会を実施した。

### (1) 相談指導の実施

子どもの心の問題を抱える家庭や虐待のおそれのある親子等に対して、訪問指導、面接相談や電話相談を随時実施した。

平成 30 年度（単位：人）

	妊産婦		乳幼児（含未熟児）		児童・生徒等	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
訪問指導	5	11	6	16	5	13
面接相談	1	1	6	9	22	57

◆電話相談 延 270 人

### (2) 療育医療の給付

結核に罹患し長期の入院を要する児童に対し、治療と教育を併せて行うために学習用品、日用品及び医療を給付している。平成 30 年度の承認件数は、0 件であった。

### (3) 不妊治療費助成事業助成金の支給

次世代育成支援の一環として、不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険の適用外による高額な医療費がかかる配偶者間の特定不妊治療（体外受精治療及び顕微授精治療）及び男性不妊治療（特定不妊治療を行う上で必要とされる精巣内精子生検採取法、精巣上体内精子吸引採取法等）にかかる費用の一部について助成している。平成 30 年度の男性不妊治療費の助成実績は 0 件であった。

また、平成 30 年度に国の回数制限を超えて助成した実績は、1 件であった。

[支給件数等]

平成 30 年度（単位：件）

新規支給件数	秩父市	横瀬町	皆野町	長瀨町	小鹿野町	計
16	49(29)	3(2)	14(9)	3(2)	8(6)	77(48)

注) 新規支給件数以外は延件数で、( ) 内が実件数となっている。

### (4) 子どもの心の健康相談事業の実施

子どもの心の健康問題は複雑で多岐にわたり、保健・医療・福祉・教育などの複数の機関による連携した対応が求められる。子ども達の健全育成を図るため、専門の医師・臨床心理士等による相談や、関係機関との検討会等を実施した。

## ア 子どもの心の健康相談

平成 30 年度

実施回数	月 1 回（予約制）
相談利用者数	実人数 12 人 延人数 12 人
相談従事者	医師、臨床心理士、保健師
相談児童の年齢	内訳：小学生以下 5 人、中学生 5 人、高校生以上 2 人
相談者	内訳：本人家族 10 人、関係機関の職員 2 人
相談経路	内訳：本人・家族 6 人、市町村 2 人、教育関係機関 4 人
相談内容	不登校、心理的問題、発達の問題など

## イ 子どもの心の健康を考える事例検討会

子どもの心の健康問題を中心に、事例検討及び情報交換を実施した。

平成 30 年度

参加機関	回数	参加者
管内の中学校教員等	1 回	11 人

## ウ 子どもの心の問題に関する研修会

管内市町の保健・福祉関係機関、保育施設等の職員を対象に研修会を実施した。

平成 30 年度

実施年月日	内 容	参加者
平成 30 年 11 月 29 日	講演：「虐待予防のための親支援について考える ～親を理解し地域で支えるには～」 講師：済生会川口総合病院 心理相談室 カウンセリングルーム ベア 田熊 喜代巳 氏	29 人

## エ 小児精神保健医療推進連絡会議

管内の関係機関の活動について情報交換を行い、ネットワークの構築に向けた検討を行った。

平成 30 年度

実施年月日	内 容	参加者
平成 30 年 8 月 9 日	テーマ 「秩父地域における乳幼児期の障害児支援について～各機関の役割を考える～」	市町保健師・障害福祉 担当者・秩父障がい者 総合支援センター・秩 父特別支援学校職員 等 19 人

### (5) 母子保健連絡調整会議等の開催

地域における母子保健体制のさらなる向上を図ることを目的に、保健所別連絡調整会議を開催し、管内の母子保健の課題について協議するとともに、子育て世代包括支援センターについて理解を深めるため研修会を開催した。

平成 30 年度

実施年月日	内 容	参加者
平成 30 年 6 月 12 日	「母子保健連携調整会議」 (1)管内市町・保健所の母子保健事業について (2)子育て世代包括支援センターについて	9 人
平成 31 年 1 月 23 日	研修会 「子育て世代包括支援センターについて理解を深めよう」 講師：埼玉県健康長寿課 山崎 夏美 氏	13 人

### (6) ふれあい親子支援事業の実施

育児不安を抱える家族や虐待のリスクのある家族に対して、適切な養育への動機づけ及び心理的安定を図ることを目的に、グループミーティングや個別相談を実施するとともに、関係者とケースカンファレンスを行った。

また、児童虐待予防スキルの向上、児童虐待予防のための連携強化を目的に、市町担当者を対象とした事例検討会を開催した。

平成 30 年度

グループミーティング	延 3 例
個別面接・相談	延 16 例
ケースカンファレンス	延 12 例

### 児童虐待予防事例検討会

平成 30 年度

実施年月日	開催市町及び参加者	助言者
平成 30 年 8 月 29 日 午前	横瀬町、小鹿野町 6 人	中央児童相談所 市町村支援員 萬燈 章雄 氏
8 月 29 日 午後	皆野町、長瀬町 8 人	
平成 31 年 2 月 6 日 午後	秩父市 12 人	

### (7) 妊娠期からの虐待予防強化事業

平成 28 年度から、県内全ての産婦人科と地域保健機関等が連携することで、妊娠・出産・育児期に養育支援を必要とする家庭を積極的に把握し、訪問支援等を行うことにより、育児不安等の軽減や孤立の防止を図り、児童虐待の予防を図ることを目的に、事業を実施している。当所では、事業が効果的に運用されるよう、関係機関の研修会や連

携会議等を実施した。

平成 30 年度

実施年月日	内 容	参加者
平成 30 年 8 年 30 日	第 1 回 研修会 (1) 講演 「ケアが必要な妊産婦のスクリーニングと 養育支援について」 講師：きむらメンタルクリニック 木村 武登 氏 (2) 事例紹介	管内母子保健担当者・児 童福祉担当者、産科医療 機関（医師・助産師）等 29 人
平成 31 年 2 月 12 日	第 2 回 連絡会議 内容：「10 代の妊婦について」 助言者：岩田産婦人科医院 院長 城谷 誉子 氏	管内母子保健担当者・児 童福祉担当者、県立高校 養護教諭、産科医療機関 助産師等 26 人

### 3 歯科保健

地域における歯科保健対策として、生涯を通じて歯の健康づくりの推進と保健・医療・福祉と連携した歯科保健事業を推進する。

#### (1) 歯科口腔保健連携推進事業

地域における歯科保健関係者、関係機関が連携し、歯科保健事業の在り方を検討することを目的に実施した。

平成 30 年度

実施年月日 (会場)	内 容	出席者
平成 30 年 11 月 15 日 (秩父保健所)	テーマ①「障害者施設健診」 講 師：秩父郡市歯科医師会 並木 史江 氏 テーマ②「障害者の高齢化～障害者サービス から高齢者サービスへの移行～」 講 師：(有)和らぎ 代表取締役 田口 章雄 氏	秩父郡市歯科医師会員、 管内市町職員（保健主管 課、高齢介護主管課、歯 科保健事業担当者、障害 者福祉主管課）、秩父地 域歯科衛生士会員等 13 人



#### 4 精神保健福祉

社会環境の多様化に伴い、相談内容も複雑化し、多機関での対応が求められる傾向にある。市町及び関係機関と連携しながら、地域精神保健福祉の向上に努めている。

##### (1) 精神保健福祉法による申請及び通報処理の状況

平成30年度（単位：件）

区 分	申請・通報件数	措置入院	措置不要	診察不要
一般人申請	0	0	0	0
警察官通報	16	6	7	3
検察官の通報	2	0	2	0
矯正施設の長の通報	3	0	0	3
計	21	6	9	6

##### (2) 相談、訪問指導の実施

平成30年度（単位：人）

面接相談							電話 相談	訪問指導						
実 人 数	延 人 数	主な内訳					延 人 数	実 人 数	延 人 数	主な内訳				
		社会 復帰	高 齢 者	・ 薬 物 等	ア ル コ ー ル	思 春 期				そ の 他	受 診 援 助 等	社会 復帰	高 齢 者	・ 薬 物 等
56	117	11	4	9	0	93	648	62	114	4	8	4	0	98

##### (3) 嗜癖問題対策事業の実施

平成15年度から嗜癖問題について「地域住民や関係者への普及啓発」「予防や早期治療のための地域ネットワークの構築」を目的に事業を展開している。

##### ア 連絡会議・研修会

平成18年度から嗜癖問題の予防及び早期治療のための地域ネットワーク構築を目的に、保健・医療・福祉職員、学校教職員、薬物乱用防止指導員、障害者福祉機関職員等を対象にした研修会等を開催している。（薬物乱用防止指導員研修会との合同研修として実施）

実施年月日	内 容	参加者
平成30年 11月13日	嗜癖問題対策関係者研修（生活衛生・薬事担当と協働） テーマ：「薬物依存の状況について」 講 師： NPO法人 埼玉ダルク 施設長 辻本 俊之 氏	33人

## イ 摂食障害者ミーティング

当事者の相談先にもなっていた家族グループ「わたりがに」の活動が中止となり、平成 26 年より当事者ミーティングを再開した。しかし、参加者人数の減少等に伴い、平成 30 年度をもって休止となった。

平成 30 年度

実施年月日	参加者
平成 30 年 6 月 19 日	1 人
平成 30 年 10 月 16 日	3 人
平成 31 年 2 月 19 日	2 人

## (4) 精神障害者を地域で支えるシステム構築事業

埼玉県精神障害者を地域で支えるシステム構築事業実施要綱に基づき、精神障害者が住み慣れた地域を拠点とし、安心して充実した生活を送ることができ、併せて精神障害者の地域移行の推進を目的に、平成 30 年 4 月から開始した。

### ア 会議及び研修会

平成 30 年度

実施年月日	内 容	参加者
平成 30 年 10 月 11 日	精神障害者地域支援連絡会議 (1)埼玉県精神障害者を地域で支えるシステム構築事業について (2)埼玉県全体の動向について (3)埼玉県地域移行ピアサポート委託事業について	管内関係 機関等 33 人
平成 31 年 2 月 26 日	精神疾患基礎研修会 テーマ：「支援者のための精神疾患基礎知識」 講 師： 秩父中央病院 院長 内田 里華 氏	管内関係 機関等 56 人

### イ ピアサポーター育成支援

地域移行に向けた支援を円滑に行うため、平成 21 年度に当事者による地域移行推進員を養成し、平成 21 年 12 月に発足した秩父当事者会「メンバー」の育成支援を、生活支援センターアクセスと協働して行った。

平成 30 年度

内 容	参加回数	参加者
秩父当事者会メンバー 定例会	9 回	延 56 人

ウ ピアサポーター養成講座

平成 30 年度

実施年月日	内 容	参加者
平成 30 年		
11 月 28 日	「ピアサポーターの役割について」	新規
12 月 5 日	「自分の体験や思いを話してみよう！聞いてみよう！」	実 3 人
12 月 19 日	「自分の魅力を引き出そう！」	延 12 人
12 月 26 日	「話を聴くってどんな感じ？ コミュニケーションの豆知識」	継続
平成 31 年		実 4 人
1 月 9 日	「自分にできることってなんだろう！？」	延 20 人

(5) ひきこもり対策の実施

ア 一般相談

ひきこもり状態の方及びその家族を対象として、精神保健福祉相談員及び保健師による相談を随時行った。個人や家族だけで抱えてきたひきこもりの相談をすることで、家族や当事者のメンタルヘルスが向上していく様子が見られた。

イ 専門相談

ひきこもり状態の方及びその家族を対象として、臨床心理士による相談を行った。ひきこもり状態への対応について助言し、相談者の行動を変えるきっかけになっている。

ウ 家族ミーティング

ひきこもり状態の方への家族の接し方について、グループワーク形式で実施した。家族の行動が少しずつ変化する中で、家族間のコミュニケーションが改善し、家族自身のメンタルヘルスの向上と当事者の行動の変化が見られるようになった。

平成 30 年度

一般相談（延人数）			専門相談	家族ミーティング
訪問	電話	面接	6 回	6 回
3 人	34 人	24 人	延 11 人	延 26 人

エ 講演会等

平成 30 年度

実施年月日	内 容	参加者
平成 31 年 1 月 31 日	ひきこもり相談研修会 テーマ：～働きづらさを感じているわが子の将来を考える～ 講 師：働けない子どものお金を考える会 ファイナンシャルプランナー 柳澤 美由紀 氏	管内関係 機関等 17 人

## (6) 精神障害者社会適応訓練事業の実施

精神障害者が一定期間、委託事業所に通う中で、集中力、対人能力、仕事に対する持続力等の向上を図ることを目的に実施した。平成30年度は、2事業所の協力を得て、5人の利用があった。

県単事業として継続していた本事業であったが、平成30年度をもって事業自体が廃止となった。

## (7) 家族会の育成

### 秩父郡市精神保健福祉会（心和会）

家族同士の交流を図るとともに、精神障害者への理解を深めるため、昭和49年に精神障害者の家族を中心に設立された。平成2年には心和会が運営主体となって作業所を設立し、平成18年にNPO法人に委譲した。現在は家族会の基本的な機能である「分かち合い」「学びあい」を中心に活動しており、当所ではそのための支援を行っている。平成30年度は、総会等へ1回出席した。

## (8) 措置入院者退院後支援事業

措置入院者が、退院後に必要な医療等の支援を継続的かつ確実に受けられるようにすることで、措置入院者の社会復帰の促進等を図ることを目的に、平成30年4月1日から施行された。

### ア 埼玉県精神障害者支援地域協議会（代表者会議）

地域における措置入院の運用、措置入院者の退院後の支援体制、医療機関及び関係機関の役割分担並びに地域における課題等について検討することを目的に、当所では、措置入院者支援会議として開催した。

平成30年度

実施年月日	内 容	参加者
平成30年 8月3日	(1) 秩父地域の措置入院者の5年間の概要 (2) 措置入院者支援の各機関の状況について (3) 埼玉県精神障害者支援地域協議会（調整会議）設置運営要綱について	管内関係 機関 28人

### イ 埼玉県精神障害者支援地域協議会（調整会議）

措置入院者の退院後について、医療その他の関係者と退院後の支援計画を協議し、また、支援の実施に係る連絡調整を行うことを目的としている。

平成30年度

支援対象者	回 数	参加者
2人	3回	延17人

## (9) 他機関との連携

### ア 精神科救急担当者会議

平成 30 年度は、消防署、警察署、精神科病院、身体科救急病院、保健所の担当者から自傷行為や自殺企図者への対応についての現状報告と、情報共有を行った。

精神科救急におけるよりよい対応を目指して、平成 19 年度から開催していたが、平成 30 年度をもって、当会議は終了となった。

実施年月日	内 容	参加者
平成 30 年 8 月 3 日	(1)精神的問題が疑われた事案への関わりに関する調査報告書について (管内医療機関へのアンケート結果) (2)休日・夜間の精神科救急医療の現状について ～埼玉県精神科救急情報センターでの対応等について報告～ (3)精神科救急医療における各機関の対応と課題について (4)自殺未遂者支援について	23 人

### イ 事例検討会・業務連絡会等

管内関係機関の求めに応じて、保健、障害福祉等に関わる会議、事例検討会に出席した。

平成 30 年度

回 数	参加者
15 回	延 153 人

### ウ 自立支援協議会

秩父郡市で暮らす障害児・者のよりよい生活を目的にした秩父地域自立支援協議会に参加している。平成 30 年度は「相談支援連絡会議」に 12 回、「運営会議」に 6 回、「全体会」に 2 回、「そだてる部会」に 3 回出席した。

また、28 年度から秩父地域障害者差別解消支援地域協議会も併せて実施され、代表者会議に 2 回、実務者会議に 2 回出席した。

### エ 認知症疾患医療連携協議会

ちちぶ圏域認知症初期集中支援チーム検討委員会へ、委員として 1 回出席した。

## (10) 自殺対策

### ア 自死遺族のつどい

平成 24 年度から、自死遺族の支援として、身近な地域で安心して語り合える場を提供している。ファシリテーターは、NPO 法人全国自死遺族総合支援センターの当事者に依頼している。また、平成 30 年度から自主的なつどいも開催している。

平成 30 年度

実施年月日 ※は自主的なつどい実施日	参加者
平成 30 年 6 月 8 日	2 人
平成 30 年 9 月 11 日 ※	2 人
平成 30 年 11 月 9 日	1 人
平成 31 年 1 月 15 日 ※	2 人
平成 31 年 3 月 8 日	2 人

## イ 講演会

平成 21 年度から自殺予防に関する普及啓発を目的に実行委員会として行ってきたが、平成 24 年度から「ちちぶ定住自立圏事業」として位置付けられ、保健所は委員として参加している。

平成 30 年度

実施年月日	内 容	参加者
平成 30 年 11 月 17 日	秩父地域自殺予防フォーラム テーマ：「どこまでも生きぬいて～夜回り先生、いのちの授業」 講 師：水谷 修 氏	500 人

## ウ 自殺対策連絡会議・研修会

平成 20 年度から各市町の自殺対策担当者を対象に、有効な自殺予防対策の実施を目的として始まった。平成 24 年度からちちぶ定住自立圏事業「秩父地域自殺予防対策連絡会」として再編された。また、平成 27 年度からは秩父市セーフコミュニティの委員も兼ね参加している。

平成 30 年度

実施年月日	内 容	参加者
平成 31 年 2 月 19 日	(1) 秩父地域自殺予防フォーラムの報告と反省 (2) 平成 31 年度の自殺予防対策事業について (3) 研修①平成 30 年秩父地域の自殺予防の現状について 報告者：秩父保健所 保健予防推進担当職員 ②メンタルヘルス・ファーストエイド研修 講師：秩父市保健センター 保健師 秩父保健所 精神保健福祉相談員	40 人

## エ 普及啓発

西武鉄道に協力し、西武秩父駅前で自殺防止キャンペーンとして普及啓発グッズを配布した。

## 5 感染症対策

感染症の発生予防及びその蔓延防止を目的として、感染症に迅速かつ的確に対応できるよう対策を実施した。

### (1) 積極的疫学調査の実施

感染症の発生及び原因を明らかにするため、調査や保健指導等を実施した。

平成 30 年度調査件数	10 件
--------------	------

### (2) 感染症（結核を除く一類～四類）の発生の状況

積極的疫学調査を実施するとともに、予防のための注意を喚起している。

平成 30 年度

疾患名	分類	件数
腸管出血性大腸菌感染症	三類	1
E 型肝炎	四類	2
レジオネラ症	四類	1

### (3) 感染症発生動向調査事業について

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、県内の患者発生状況、病原体の検索など流行の実態を早期かつ的確に把握するために行っている。

[指定届出機関]

平成 30 年度

医療機関名（担当科）	定点区分
国保町立小鹿野中央病院（内科）	インフルエンザ定点
秩父市立病院（内科）	インフルエンザ定点
秩父市立病院（小児科）	小児科定点
伊古田小児科医院	小児科定点
本間医院	小児科定点
岩田産婦人科医院	STD 定点
秩父市立病院	基幹定点

### (4) 感染症担当者連絡調整会議

感染症対策に関する情報交換を目的に、管内市町感染症担当者との会議を実施した。

平成 30 年度

実施年月日	内 容	参加者
平成 30 年 7 月 18 日	(1)新型インフルエンザ等対策の体制整備について 「新型インフルエンザ等における埼玉県の体制整備について」 説明者：保健医療政策課 感染症・新型インフルエンザ対策担当 渡邊 千鶴子 氏  (2)麻しん対策について  (3)肝炎対策について	16 人

(5) 感染症に関する研修・訓練

平成 30 年度

実施年月日	内 容	参加者
平成 30 年 10 月 29 日	感染症対策研修会 講義・実技： 「感染症対策のコツとこれから流行る感染症のお話」 ～インフルエンザ・ノロウイルス等徹底対策～ 講師：独立行政法人国立病院機構西埼玉病院 感染症看護専門看護師・感染症管理認定看護師 武田 由美 氏	高齢者・障害者・乳幼児関係施設、市町職員 36 人
平成 30 年 11 月 16 日	新型インフルエンザ等対策訓練 ・陰圧テントの設置と運用検討 ・専用外来での患者対応手順や動線、連絡調整の確認 ・搬送車両での患者搬送手順の確認 ・反省会	医療機関、市町、消防、県、保健所職員 54 人

(6) 性感染症等に関する検査及び相談の実施

性感染症等の相談は随時行い、H I V 検査及び梅毒、B 型肝炎、C 型肝炎、クラミジアの検査を、夜間を含めて毎月 2 回実施した。

平成 30 年度（単位：人）

性感染症等相談		性感染症等検査					
電話	来所	H I V		梅毒	B 型肝炎	C 型肝炎	クラミジア
		男	女				
88	90	25	20	44	47	47	45

(7) 肝炎治療特別促進事業の実施

C 型肝炎ウイルスの根治を目的として行うインターフェロン治療及びインターフェロンフリー並びに B 型肝炎ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸ア



ナログ製剤治療で、保険診療を受けた際の自己負担分の医療費等の一部を公費負担することにより、早期治療を促進し肝硬変・肝がんの予防及び肝炎ウイルスの感染防止を図っている。

平成 30 年度

C型肝炎インターフェロンフリー治療受給者（再治療を含む）	27 人
B型肝炎核酸アナログ製剤治療受給者（更新を含む）	54 人
B型・C型肝炎インターフェロン治療受給者（2回目を含む）	0 人

## 6 結核対策

結核新規登録患者・登録者数ともに、減少傾向にある。発生時の調査及び相談、服薬中の服薬支援、服薬終了後の経過観察などにより、予防対策を実施している。

### （1）結核登録者数の推移

（単位：人）

年次	平成 21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年
登録者数	44	41	41	42	37	33	23	28	20	14
新登録者数	17	13	15	20	10	20	17	13	8	8

注）登録者数：平成 30 年 12 月 31 日現在

新登録者数：平成 30 年中（平成 28 年より LTBI・転症除外者は除く）

### （2）新規登録者（市町別・活動性分類）

平成 30 年中（単位：人）

分 類		秩父市	横瀬町	皆野町	長瀬町	小鹿野町	計
活動性結核	肺結核塗抹陽性	2	-	1	-	-	3
	その他の菌陽性	1	1	-	-	-	2
	菌陰性・その他	-	1	-	-	-	1
	肺外結核	-	2	-	-	-	2
総 計		3	4	1	-	-	8
別 掲	潜在性結核感染症	1	-	-	-	-	1

### （3）新規登録者（年齢階級別）

平成 30 年中（単位：人）

	0~9 歳	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代	100 歳~	計
活動性結核	-	-	-	1	-	1	-	3	3	-	-	8
潜在性結核感染症	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1

#### (4) 感染症診査協議会

感染症法第18条による就業制限及び第19条による入院勧告、第20条による入院期間の延長、並びに第37条の2による結核医療について審査を行うため、委員3人が委嘱され開催している。

平成30年度

開催回数	諮問件数	内 訳 (件)		
		就 業 制 限 (法 18 条)	入 院 勧 告 (法 19、20 条)	公 費 負 担 (法 37 条の 2)
12	37	5	14	18

#### (5) 管理検診・接触者健康診断の実施

結核登録者で、医学的状況を把握する必要のある者の管理検診と、患者の家族及び接触者に対する接触者健康診断を実施することで、結核の早期発見・早期治療を図った。

##### ア 管理検診結果

平成30年度 (単位:人)

対象者 実人数	受診者 延人数	延内訳		結果
		委託医療機関受診	その他の自己健診	
20	24	3	21	再発者なし

##### イ 接触者健康診断結果

平成30年度 (単位:人)

対象者 実人数	受診者 延人数	延内訳			結果
		保健所	委託医療機関受診	その他の自己健診	
16	18	IGRA 検査	胸部レントゲン	胸部レントゲン	異常なし 18
		8	4	6	結核発病恐れ、 要治療者 0

#### (6) 訪問指導・来所相談及び電話相談の実施

結核対策の個別指導として、患者及び家族等への訪問指導及び来所相談、電話相談を随時行った。

また、平成17年度からは埼玉県版DOTS(服薬確認を軸とした患者支援)事業が開始され、すべての新規登録患者への服薬支援を行うとともに、治療完了率の向上に努めている。

平成30年度 (単位:人)

相 談		訪 問 指 導			
電 話	来 所	実人数		延人数	
延人数	延人数	19	(再掲) DOTS	111	(再掲) DOTS
			341		41

## 7 難病対策

指定難病等及び小児慢性特定疾病の診療に係る費用を公費で負担することにより、当該疾患の治療を推進し、医療の確立と普及を促進するとともに、患者とその家族の負担軽減を図ることを目的として実施している。

### (1) 指定難病の医療給付

国が指定する指定難病及び県が指定する特定疾患にり患し、認定基準に合致し、原則として治療を必要とする者に医療給付をしている。

[受給者数合計 707人]

平成30年度末現在(単位:人)

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
01	球脊髄性筋萎縮症	2	24	亜急性硬化性全脳炎	-
02	筋萎縮性側索硬化症	11	25	進行性多巣性白質脳症	-
03	脊髄性筋萎縮症	-	26	HTLV-1関連脊髄症	1
04	原発性側索硬化症	1	27	特発性基底核石灰化症	-
05	進行性核上性麻痺	6	28	全身性アミロイドーシス	1
06	パーキンソン病	69	29	ウルリッヒ病	-
07	大脳皮質基底核変性症	1	30	遠位性ミオパチー	-
08	ハンチントン病	1	31	ベスレムミオパチー	-
09	神経有棘赤血球症	-	32	自己貪食空胞性ミオパチー	-
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	33	シュワルツ・ヤンペル症候群	-
11	重症筋無力症	28	34	神経線維腫症	2
12	先天性筋無力症候群	-	35	天疱瘡	2
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	18	36	表皮水疱症	-
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	1	37	膿疱性乾癬(汎発型)	1
15	封入体筋炎	1	38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	-
16	クロウ・深瀬症候群	-	39	中毒性表皮壊死症	-
17	多系統萎縮症	18	40	高安動脈炎	4
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	17	41	巨細胞性動脈炎	-
19	ライソゾーム病	1	42	結節性多発動脈炎	2
20	副腎白質ジストロフィー	-	43	顕微鏡的多発血管炎	9
21	ミトコンドリア病	2	44	多発血管炎性肉芽腫症	1
22	もやもや病	14	45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1
23	プリオン病	1	46	悪性関節リウマチ	3

疾病 番号	疾 患 名	受給者	疾病 番号	疾 患 名	受給者
47	バージャー病	1	79	家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)	-
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	-	80	甲状腺ホルモン不応症	-
49	全身性エリテマトーデス	60	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	-
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	19	82	先天性副腎低形成症	-
51	全身性強皮症	36	83	アジソン病	-
52	混合性結合組織病	8	84	サルコイドーシス	24
53	シェーグレン症候群	7	85	特発性間質性肺炎	6
54	成人スチル病	1	86	肺動脈性肺高血圧症	3
55	再発性多発軟骨炎	2	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	-
56	ベーチェット病	16	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4
57	特発性拡張型心筋症	12	89	リンパ脈管筋腫症	2
58	肥大型心筋症	1	90	網膜色素変性症	13
59	拘束型心筋症	-	91	バッド・キアリ症候群	-
60	再生不良性貧血	6	92	特発性門脈圧亢進症	1
61	自己免疫性溶血性貧血	-	93	原発性胆汁性胆管炎	47
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	94	原発性硬化性胆管炎	-
63	特発性血小板減少性紫斑病	21	95	自己免疫性肝炎	11
64	血栓性血小板減少性紫斑病	-	96	クローン病	31
65	原発性免疫不全症候群	2	97	潰瘍性大腸炎	77
66	IgA 腎症	1	98	好酸球性消化管疾患	-
67	多発性嚢胞腎	8	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	-
68	黄色靱帯骨化症	4	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	-
69	後縦靱帯骨化症	9	101	腸管神経節細胞僅少症	-
70	広範脊柱管狭窄症	5	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	-
71	特発性大腿骨頭壊死症	20	103	CFC 症候群	-
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	-	104	コステロ症候群	-
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	-	105	チャージ症候群	-
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	-	106	クリオピリン関連周期熱症候群	-
75	クッシング病	1	107	若年性特発性関節炎	-
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	-	108	TNF 受容体関連周期性症候群	-
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1	109	非典型溶血性尿毒症症候群	-
78	下垂体性前葉機能低下症	1	110	ブラウ症候群	-

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
111	先天性ミオパチー	1	143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	-
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	-	144	レノックス・ガストー症候群	-
113	筋ジストロフィー	5	145	ウエスト症候群	-
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	-	146	大田原症候群	-
115	遺伝性周期性四肢麻痺	-	147	早期ミオクロニー脳症	-
116	アトピー性脊髄炎	-	148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	-
117	脊髄空洞症	-	149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	-
118	脊髄髄膜瘤	-	150	環状 20 番染色体症候群	-
119	アイザックス症候群	-	151	ラスムッセン脳炎	-
120	遺伝性ジストニア	-	152	P C D H 19 関連症候群	-
121	神経フェリチン症	-	153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	-
122	脳表ヘモジデリン沈着症	-	154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	-
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	-	155	ランドウ・クレフナー症候群	-
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	-	156	レット症候群	-
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	-	157	スタージ・ウェーバー症候群	-
126	ペリー症候群	-	158	結節性硬化症	-
127	前頭側頭葉変性症	-	159	色素性乾皮症	-
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	-	160	先天性魚鱗癬	-
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	-	161	家族性良性慢性天疱瘡	-
130	先天性無痛無汗症	-	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	1
131	アレキサンダー病	-	163	特発性後天性全身性無汗症	-
132	先天性核上性球麻痺	-	164	眼皮膚白皮症	-
133	メビウス症候群	-	165	肥厚性皮膚骨膜炎	-
134	中隔視神経形成異常症／ドモルシア症候群	-	166	弾性線維性仮性黄色腫	-
135	アイカルディ症候群	-	167	マルファン症候群	-
136	片側巨脳症	-	168	エーラス・ダンロス症候群	-
137	限局性皮膚異形成	-	169	メンケス病	-
138	神経細胞移動異常症	-	170	オクシピタル・ホーン症候群	-
139	先天性大脳白質形成不全症	-	171	ウィルソン病	-
140	ドラベ症候群	-	172	低ホスファターゼ症	-
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	-	173	V A T E R 症候群	-
142	ミオクロニー欠伸てんかん	-	174	那須・ハコラ病	-

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
175	ウィーバー症候群	-	209	完全大血管転位症	-
176	コフィン・ローリー症候群	-	210	単心室症	-
177	ジュベール症候群関連疾患	-	211	左心低形成症候群	-
178	モワット・ウィルソン症候群	-	212	三尖弁閉鎖症	-
179	ウィリアムズ症候群	-	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1
180	A T R - X 症候群	-	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	-
181	クルーズン症候群	-	215	ファロー四徴症	-
182	アペール症候群	-	216	両大血管右室起始症	-
183	ファイファー症候群	-	217	エプスタイン病	-
184	アントレー・ビクスラー症候群	-	218	アルポート症候群	-
185	コフィン・シリス症候群	-	219	ギャロウェイ・モワット症候群	-
186	ロスムンド・トムソン症候群	-	220	急速進行性糸球体腎炎	-
187	歌舞伎症候群	-	221	抗糸球体基底膜腎炎	-
188	多脾症候群	-	222	一次性ネフローゼ症候群	5
189	無脾症候群	-	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	-
190	鰓耳腎症候群	-	224	紫斑病性腎炎	-
191	ウェルナー症候群	-	225	先天性腎性尿崩症	-
192	コケイン症候群	-	226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	-
193	プラダー・ウィリ症候群	-	227	オスラー病	-
194	ソトス症候群	-	228	閉塞性細気管支炎	-
195	スーナン症候群	-	229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	-
196	ヤング・シンプソン症候群	-	230	肺胞低換気症候群	-
197	1 p 36 欠失症候群	-	231	$\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	-
198	4 p 欠失症候群	-	232	カーニー複合	-
199	5 p 欠失症候群	-	233	ウォルフラム症候群	-
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	-	234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	-
201	アンジェルマン症候群	-	235	副甲状腺機能低下症	-
202	スミス・マギニス症候群	-	236	偽性副甲状腺機能低下症	-
203	22 q 11.2 欠失症候群	-	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	-
204	エマヌエル症候群	-	238	ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	-
205	脆弱X症候群関連疾患	-	239	ビタミンD依存性くる病／骨軟化症	-
206	脆弱X症候群	-	240	フェニルケトン尿症	-
207	総動脈幹遺残症	-	241	高チロシン血症1型	-
208	修正大血管転位症	-	242	高チロシン血症2型	-

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
243	高チロシン血症 3 型	-	275	タナトフォリック骨異形成症	-
244	メープルシロップ尿症	-	276	軟骨無形成症	-
245	プロピオン酸血症	-	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	-
246	メチルマロン酸血症	-	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	-
247	イソ吉草酸血症	-	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	-
248	グルコーストランスポーター1欠損症	-	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	-
249	グルタル酸血症 1 型	-	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	-
250	グルタル酸血症 2 型	-	282	先天性赤血球形成異常性貧血	-
251	尿素サイクル異常症	-	283	後天性赤芽球癆	2
252	リジン尿性蛋白不耐症	-	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	-
253	先天性葉酸吸収不全	-	285	ファンコニ貧血	-
254	ポルフィリン症	-	286	遺伝性鉄芽球性貧血	-
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	-	287	エプスタイン症候群	-
256	筋型糖原病	-	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	-
257	肝型糖原病	-	289	クロンカイト・カナダ症候群	-
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	-	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	-
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	-	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	-
260	シトステロール血症	-	292	総排泄腔外反症	-
261	タンジール病	-	293	総排泄腔遺残	-
262	原発性高カイロミクロン血症	-	294	先天性横隔膜ヘルニア	-
263	脳髄黄色腫症	-	295	乳幼児肝巨大血管腫	-
264	無βリポタンパク血症	-	296	胆道閉鎖症	-
265	脂肪萎縮症	-	297	アラジール症候群	-
266	家族性地中海熱	-	298	遺伝性膵炎	-
267	高IgD症候群	-	299	嚢胞性線維症	-
268	中條・西村症候群	-	300	IgG4関連疾患	1
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	-	301	黄斑ジストロフィー	-
270	慢性再発性多発性骨髄炎	-	302	レーベル遺伝性視神経症	-
271	強直性脊椎炎	2	303	アッシャー症候群	-
272	進行性骨化性線維異形成症	-	304	若年発症型両側性感音難聴	-
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	-	305	遅発性内リンパ水腫	-
274	骨形成不全症	-	306	好酸球性副鼻腔炎	1

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
307	カナバン病	-	05	◇スモン	1
308	進行性白質脳症	-	18	◇難治性肝炎のうち劇症肝炎	-
309	進行性ミオクローヌステんかん	-	32	◇重症急性膵炎	-
310	先天異常症候群	-	38	◇プリオン病（ヒト由来乾燥硬膜移植によるクワイツェルト・ヤコブ病に限る。）	-
311	先天性三尖弁狭窄症	-	995	◎溶血性貧血	-
312	先天性僧帽弁狭窄症	-	996	◎橋本病	-
313	先天性肺静脈狭窄症	-	997	◎特発性好酸球増多症候群	-
314	左肺動脈右肺動脈起始症	-	998	◎原発性慢性骨髄線維症	2
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B 関連腎症	-			
316	カルニチン回路異常症	-			
317	三頭酵素欠損症	-			
318	シトリン欠損症	1			
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	-			
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	-			
321	非ケトーシス型高グリシン血症	-			
322	β-ケトチオラーゼ欠損症	-			
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	-			
324	メチルグルタコン酸尿症	-			
325	遺伝性自己炎症疾患	-			
326	大理石骨病	-			
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	-			
328	前眼部形成異常	-			
329	無虹彩症	-			
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	-			
331	特発性多中心性キャッスルマン病	1			

◇特定疾患 ◎県単独疾患

- 注) 1 難病の患者に対する医療等に関する法律として平成27年1月1日から施行  
2 196疾病（111～306）は平成27年7月1日から適用  
3 24疾病（307～330）は平成29年4月1日から適用  
4 1疾病（331）は平成30年4月1日から適用

令和元年7月1日から、新たに次の2疾病が指定難病に追加され、医療給付対象となった。  
疾病番号：332 膠様滴状角膜ジストロフィー  
疾病番号：333 ハッチンソン・ギルフォード症候群



## (2) 小児慢性特定疾病医療費助成制度

児童福祉法第19条の2に基づき、児童等の慢性疾病のうち国が指定した疾病（小児慢性特定疾病）の医療にかかる費用の一部を助成し、医療費の負担軽減を図る。

[受給者合計 84人]

平成30年度末現在（単位：人）

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
01	悪性新生物	10	09	血液疾患	2
02	慢性腎疾患	6	10	免疫疾患	-
03	慢性呼吸器疾患	5	11	神経・筋疾患	11
04	慢性心疾患	17	12	慢性消化器疾患	5
05	内分泌疾患	15	13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	2
06	膠原病	-	14	皮膚疾患	-
07	糖尿病	8	15	骨系統疾患	-
08	先天性代謝異常	2	16	脈管系疾患	1

## (3) 先天性血液凝固因子欠乏症医療の給付

先天性血液凝固因子欠乏症等により患し、認定基準に合致し、原則として治療を必要とする者に医療給付をしている。

[受給者合計 7人]

平成30年度末現在（単位：人）

疾病番号	990000～990010	受給者	7
------	---------------	-----	---

## (4) 相談指導の実施

難病患者及び家族に対して、申請時等の面接を中心にした相談指導や訪問指導、電話相談を随時行った。

平成30年度

	訪問指導 (実人数)	面接相談		(再掲) 面接の延相談主訴 (件数)									電話相談 (件数)
				申請等	医療	家庭看護	福祉制度	就労	就学	食事・栄養	歯科	その他	
		(実人数)	(延件数)										
指定難病	20	714	1,366	714	392	45	60	18	0	27	17	93	154
小児慢性	5	71	74	44	19	1	1	0	2	1	0	6	48

## (5) 難病相談事業の実施

難病患者とその家族の療養支援を目的に、交流会や自助グループ支援等を実施している。平成24年度からは、災害時における難病患者支援に取り組み、関係者に対して連絡会等を開催している。また、平成28年度から、難病患者やその家族の相談等に従事する関係機関職員の資質向上を図るため、在宅難病患者支援従事者研修会を実施している。

### ア 長期療養児教室の開催

平成30年度は、小児慢性特定疾病児童等を受け入れる関係機関の支援者に対して、食物アレルギーの対応に関する情報提供及び周知啓発のため、研修会を開催した。

また、交流会では、小児慢性特定疾病の医療費助成制度の変更点を保護者に対して周知した。

実施年月日	内 容	参加者
平成30年 8月28日	講話：「食物アレルギーの対応 ～実症例を中心にみんなと考える～」 秩父市立病院 小児科部長 加藤 哲司 氏	50人
平成30年 9月14日	『慢性疾患のお子様をお持ちの保護者の集い』 ・交流会	17人

### イ 難病患者交流会

平成30年度

実施年月日	内 容	参加者
平成30年 9月15日	A L S 患者・家族等北部ブロック交流会 テーマ：「療養生活上のポイント等について」 (日本A L S 協会埼玉県支部北部ブロック交流会、県北保健 所との共催)	32人
平成31年 3月8日	難病患者と家族の集い (パーキンソン病、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺、脊髄 小脳変性症)	17人

### ウ 自助グループ支援

#### ◆花みずき会

平成17年6月から膠原病の地区患者会として自主活動を行っており、平成30年度は6回(4月・5月・7月・9月・11月・3月)、会場提供・材料の貸し出し・活動のPR・運営の相談等の支援を行った。

## エ 在宅難病患者支援従事者研修会

平成 30 年度

実施年月日	内 容	参加者
平成 30 年 10 月 19 日	<p>「療養生活に役立つ神経難病患者のためのリハビリ」 講話</p> <p>(1) 難病患者への支援と医療給付制度について 講師：秩父保健所 保健予防推進担当職員</p> <p>(2) 講義：「在宅でのリハビリと作業療養士の関わり方」 講師：秩父第一病院 作業療法士 井上 大地 氏</p> <p>(3) 講義：「S T から見た神経難病リハビリ～患者さんが美味しく食べて、楽しくお話しするために～」 講師：秩父第一病院 認定言語聴覚士 神田 知佳 氏</p>	26 人
平成 30 年 12 月 13 日	<p>(1) 講義：「在宅神経難病患者の災害支援について ～震災の体験から～」 講師：埼玉県難病医療連絡協議会 難病診療連携コーディネーター 中根 文江 氏</p> <p>(2) 体験談：「災害に備え、日頃から準備していること」 発表者：小児慢性特定疾病児の保護者</p> <p>(3) 医療依存度の高い在宅難病患者への支援状況の報告</p>	17 人

### (6) 秩父保健医療圏（秩父保健所所管区域）難病対策地域協議会

難病法第 3 2 条に基づき、関係機関等が相互の連絡を図り難病患者への支援体制に関する課題について情報共有し強化を図るために、平成 2 9 年度から設置されている。

平成 30 年度

実施年月日	内 容	参加者
平成 31 年 1 月 18 日	<p>(1) 管内の指定難病医療受給者状況について</p> <p>(2) 当所における難病対策事業について</p> <p>(3) 各関係機関の災害対策への取り組み状況について</p>	11 人

## 8 原子爆弾被爆者対策

原子爆弾被爆者の医療等に関する法律に基づき、広島、長崎において被爆した者に原子爆弾被爆者健康手帳を交付し、手帳所持者には、必要な医療費を給付している。

平成 30 年度

原子爆弾被爆者等健康手帳所持者数	6 人
------------------	-----

## 9 保健師人材育成

保健師の現任教育体制の整備・充実を図るため、県・市町村保健師連絡調整会議地域別会議を開催し、管内の課題を共有し現任教育計画を作成した。

平成 30 年度

実施年月日	内 容	参加者
平成 30 年 5 月 18 日	(1)各所属における保健師現任教育の現状と課題について (2)管内における平成 30 年度保健師現任教育計画について	9 人

管内には、市町及び保健所保健師を会員とする「秩父地域保健師会」が平成 29 年度に発足した。同会の平成 30 年度の主な活動としては、保健師の資質の向上を目的とした研修会と、会員を対象としたアンケート調査を実施した。なお、昭和 38 年度から活動を継続している「秩父保健師業務研究会」は、本会の発足に伴い、部会に位置づけられた。

## 10 秩父地区地域看護推進会議

平成 26 年度までは、北部 3 保健所輪番で年 1 回開催してきた「北部地区地域看護推進会議」を、平成 27 年度から各保健所で開催することになった。当所では、管内病院の看護部長相当職及び保健所・市町の統括的立場にある保健師間の連携を目的に、会議を開催している。

平成 30 年度

実施年月日	内 容	参加者
平成 31 年 3 月 1 日	(1)最近の感染症の動向について (2)今後の秩父地区地域看護推進会議について	16 人